

第二復員省公報

第三二號

庶務主任

昭和二十一年二月二日(土)
第二復員大臣官房

○令 總

達第二號

第二復員省所管陸上無線施設及艦船裝置無線施設ニ對シ別冊ノ
通呼出符號(船名符字併用)ヲ附與ス但シ呼出符號トシテノ使
用期日ハ特令ス

別冊ハ所要ノ向ニ之ヲ配付ス

昭和二十一年二月一日

第二復員大臣

官房總第一三號

海軍關係戰爭犯罪容疑者、同裁判ニ關係スル證人等ノ取扱ニ關
件左ノ通定ム

昭和二十一年一月二十九日

第二復員大臣

一 海軍關係戰爭犯罪容疑者、戰爭裁判ニ關係スル證人等ノ取
扱擔任ハ左ノ各項ニ依ル

(イ) 第二復員省關係官廳ニ在職スル者及海軍未復員者ハ第二
復員省擔任ス

(ロ) 前項以外ノ者ハ内務省擔任ス

二 本人ノ身分不明ニシテ兩省間ノ擔任明確ナラザル場合ハ相

第二復員省公報 第三二號 昭和二十一年二月二日

五 積極的ニ調査ノ上責任者ニ於テ處理ス

三 第二復員省及其ノ關係官廳ハ第一項業務ニ關シ内務省ヨリ
調査依頼アリタルトキハ進ンデ之ニ協力シ且住所調査、呼出
宿泊、給養、旅行等ニ關シ援助スルモノトス

四 第二復員省ハ指令又ハ要求ニ依リ其ノ擔任ニ從ヒ出頭者所
屬官廳ノ長又ハ本人ニ對シ日時、場所ヲ明示シ所屬官廳ノ長
又ハ本人ノ責任ニ於テ出頭セシム

右ノ場合逃亡等ノ虞アルトキハ要スレバ警察ノ援助ヲ受ケ護
送ノ手段ヲ講ズルモノトス

五 第二復員省關係官廳ハ戰爭犯罪容疑者トシテ收容セララル
者又ハ證人トシテ出頭スル者ニ對シ收容又ハ出頭ニ先テ努メ
テ第二復員省(大臣官房臨時調査部)ニ連絡シ其ノ行動ヲ指
令又ハ要求ニ合致セシムル如ク指導スルモノトス

官房經第七號

臨時軍事費特別會計歲出科目中左ノ通追加ス

昭和二十一年一月三十一日

第二復員大臣

臨時軍事費(款、項)雜給及雜費(目)諸手當(節)ノ解説ニ
「昭和二十年達第七號ニ依リ給スル掃海手當」及「昭和二十年達

三五

第一五號ニ依リ給スル勞務手當」ヲ加フ

○雜款

○郵便物發送先

當分ノ間本艦宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

記

東舞鶴郵便局留置

(特別輸送艦長鯨)

○郵便物轉送ノ件

左記特別輸送艦船ハ鹿兒島ヲ基點トシ復員輸送ニ從事シアル處郵便物不達ニ付各部ニ滯留中ノ郵便物ハ「鹿兒島上陸地連絡所氣付」ニテ轉送方取計ハレ度

記

長鯨	花月	樞	樞	羽節	伊王
海四四	海八	海三四	海七九	海八五	海六〇
千歲丸	高砂丸	楨			

(鹿兒島上陸地連絡所)

第二復員省公報

第三三號

○省 令

第二復員省令第一號

死亡ニ關スル諸手續ヲ完了シタル海軍軍人及軍屬生還シタル場合ニ於ケル届出等ニ關スル件左ノ通定ム

昭和二十一年一月三十日

第二復員大臣

第一條 死亡ニ關スル諸手續ヲ完了シタル海軍軍人及軍屬ニシテ生還シタルモノ(生還者ト稱ス以下同ジ)アリタル場合ニ於テハ其ノ留守ヲ擔當シ居リタル者(留守擔當者ト稱ス以下同ジ)ハ生還者ト連署ヲ以テ生還者届(様式第一)作成シ生還者ノ内地に上陸後三月以内ニ生還者ノ本籍地市區町村長ヲ經テ本人ノ舊在籍ノ區分ニ從ヒ第二復員省人事局長又ハ地方復員局人事部長(以下人事局長又ハ人事部長ト稱ス)ニ届出ツベシ

第二條 市區町村長前條ノ規定ニ依ル届出ヲ受ケタルトキハ死亡ニ關スル報告記載ノ本人ナルコトヲ調査シ其ノ旨與書證明ヲ爲シ死亡ニ關スル報告發信ノ區分ニ從ヒ之ヲ速ニ人事局長又ハ人事部長ニ送付スベシ但シ第四條ノ規定ニ依リ既ニ死亡報告取消ノ通知ヲ爲シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

昭和二十一年二月四日(月)
第二復員大臣官房

第三條 人事局長又ハ人事部長第一條ノ規定ニ依ル届出ヲ受ケタルトキハ調査ノ上左ニ依リ之ヲ處理スベシ

- 一 戶籍法第十九條ノ規定ニ準ジ死亡報告ヲ爲シタルモノニ付テハ生還者ノ本籍地市區町村長ニ對シ速ニ其ノ死亡報告取消通知(様式第二)ヲ送付スルト共ニ生還者ノ留守擔當者(留守擔當者ナキ場合ニ於テハ生還者)ニ死亡報告取消通知(様式第二)ニ準ズ戶籍訂正ハ官ニ於テ之ヲ處理スル旨附帶スヲ爲スモノトス
- 二 戶籍法百十六條ノ規定ニ準ジ留守擔當者ヲシテ死亡ノ届出ヲ爲サシムル爲メ死亡證明書ヲ交付シタルモノニ付テハ死亡證明書取消ノ旨ヲ之ニ通知(様式第三)シ戶籍訂正ノ手續ヲ爲サシムベシ

第四條 人事局長又ハ人事部長ハ所轄長ノ報告其ノ他ニ依リ死亡認定後生存シ居ルコトヲ確認シタル場合ニ於テハ第一條ノ届出ヲ俟ツコトナク速ニ第三條ノ規定ニ準ジ處理スベシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際既ニ内地ニ歸還シタル生還者ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ三月以内ニ第一條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スベシ
(様式添)

第二復員省公報 第三三號 昭和二十一年二月四日

三七

○令 達

内令第一六號

昭和十八年内令第一八三三號別表中左ノ通改正ス

昭和二十一年二月一日

第二復員大臣

第二十七特別根據地隊ノ項ヲ削ル(所屬ノ特務艇全部除籍)

内令第一七號

昭和十八年内令第二五六六號別表中左ノ通改正ス

昭和二十一年二月一日

第二復員大臣

第二十七特別根據地隊ノ項ヲ削ル

内令第一八號

漁船	美島丸
同	オーストラリア丸
同	鳥取丸
同	第五光進丸
同	第三日蘭丸
同	第五開進丸
同	第三參南進丸
同	第二大和丸
同	第二大寶丸

右特設監視艇トシ舞鶴地方復員局所管ト定メタル處之ヲ解ク

昭和二十一年二月一日

第二復員大臣

内令第一九號

元第三百三十八號哨戒特務艇

元第三百三十九號哨戒特務艇

右掃海艦トシ吳地方復員局所管ト定ム

昭和二十一年二月一日

第二復員大臣

内令第二〇號

昭和二十年内令第七號中左ノ通改正ス

昭和二十一年二月一日

第二復員大臣

表中
吳地方復員局掃海部吳支部ノ項掃海艦名ノ欄「哨特第百二號」ノ前ニ「片島」ヲ、掃海艦名又ハ隻數ノ欄ニ「雜役船(曳船)二隻」ヲ加フ

同仙崎支部ノ項掃海艦名ノ欄「哨特第百七十九號、驅潛特第百六十四號」ヲ「黑神、哨特第百三十八號、同第百三十九號、同第百七十九號、驅潛特第百六十四號、同第百九十八號」ニ改ム

同松竹支部ノ項掃海艦名ノ欄「黑神、片島」及「驅潛特第百九十八號」ヲ削リ掃海艦名又ハ隻數ノ欄「雜役船(曳船)三隻」

ヲ「雜役船(曳船)一隻」ニ改メ同項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

佐世保地方復員局
 同第百四十八號
 同第百七十八號
 同第百七十六號
 同第百四十二號
 同第百五十四號
 同第百五十六號
 同第百五十七號

(昭和二十年十二月十八日第二復員省公報第一〇號參照)

内令第二一號

横須賀地方復員局所管

特別輸送艦 驅潜第十五號

同 驅潜第四十四號

同 驅潜第五十一號

右特別輸送艦ヲ解ク

昭和二十一年二月一日

第二復員大臣

○通牒

二復人事局補第二八號ノ七

昭和二十一年二月四日

第二復員省總務局長
 第二復員省人事局長

第二復員省公報 第三三號 昭和二十一年二月四日

各地方復員局總務部長
 各上陸地連絡所長
 輸送關係各艦(船)長 殿
 在外部隊現狀調書等ニ關スル件照會
 在外部隊ノ狀況並ニ部隊員ノ消息明確ヲ缺クモノ多キ現狀ニ鑑
 ミ首題ノ件左記ニ依リ調製送付ノコトニ取計ハレ度
 記

處理事項	處 理 要 領
在外部隊 現狀調書	外地ヨリ歸還部隊(總)ノ所轄長(一部歸還 ノトキハ其ノ先任者)ハ上陸地連絡所ニ於テ 第一様式ニ依リ作製シ第二復員省總務局長、 同人事局長及關係地方復員局長官ニ提出(送 付)ス
海軍軍人軍 屬消息調査	輸送艦(船)長ハ乘艦(船)歸還者ニ就キ第 二様式ニ依リ記註センメ整理ノ上上陸地連絡 所ヲ經由歸還者ノ在籍地方復員局殘務整理班 ニ送付ノコト (要スレバ部外者ニモ記註ヲ依頼スルコト)
殘務整理	歸還後殘務整理ヲ要スルトキハ所轄長又ハ先 任者ハ所要人員ヲ指名シ在籍地方復員局總務 部殘務整理班ニ於テ整理事務ニ當ラシムルコ ト 此ノ際ハ執務場所及關係者氏名ヲ總務局長、 人事局長及在籍地方復員局人事部長ニ通知ノ コト

1645

(様式添)

○雜 款

○郵便物發送先

當分ノ開本所宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

記

下關地方掃海支部氣付

(下關上陸地連絡所)

○事務開始

當支部ハ一月三十日左記ニ於テ事務ヲ開始セリ

記

釧路市南大通八丁目一番地

(電話 一二二七番)

(札幌地方復員人事部釧路支部)

○宿所及電話

第二復員省總務局掃海課長 田村久三

宿所 目黒區柿ノ木坂三〇五

電話 荏原 三一九〇番

○削除

第二復員省公報第二四號二〇頁取消欄中左記ノ者ヲ削除ス

記

海軍軍醫中佐 武藤經世(三三)

第二復員省公報第二六號二四頁取消欄中左記ノ者ヲ削除ス

記

海軍藥劑大尉 鳥山新一(八三)

○失官

元海軍技師 〇〇〇ハ昭和二十年十二月十八日窃盜及業務上横

領罪ニ依リ懲役一年ノ刑ヲ宣告セラレタリ

一 氏名
 二 本籍
 三 住居
 四 戸主及戸主トノ續柄
 五 電報符號又ハ兵籍番號官等級
 六 所轄名
 七 死亡年記月日
 八 内地陸上陸年月日
 九 内地陸上陸地名
 右及届出候也

復員省 第二復員省人事局長殿
 (何地方復員局人事部長殿)
 留守擔當者
 生還者
 七、復員省人事局長殿
 右ノ海軍省令奉り
 六、士官(不備士官)文官ヲ含ム
 右以外ハ在籍ノ地方復員局令奉り

一 電報符號又ハ兵籍番號不明ノモノハ不明ト記載スルコト
 二 軍屬ナルトキハ官等級ノ項ハ文官ニ在リテハ官名ヲ其ノ他ノ者ニ在リテハ囑託、徴用員、雇員、傭人等ノ身分ヲ記載スルモノトス

三 公報記載ノ死亡年月日明ナラザルトキハ戸籍記載ノ死亡年月日ニ付記載スルモノトス
 四 所轄名ハ死歿認定當時在リタル所轄名トスルコト
 五 復員省令奉り

(様式第二)(用紙適宜)

(昭和二十一年二月四日第二復員省公報)

年 月 日

市 區 町 村 長 殿

海軍軍人戦死ノ件取消

第二復員省人事局長
(何地方復員局人事部長)

職印

左記海軍軍人戦死ニ關シ 年 月 日附 號ヲ以テ戸籍法第百十九條ノ規定ニ準ジ報告致候
處其ノ後生存シ居ルコトヲ確認致候ニ付前記報告ハ之ヲ取消致候

記

一 本 籍

二 氏 名

三 出 生 年 月 日

四 戸 主 ノ 氏 名 及 続 柄

五 官 職 階

六 報 告 死 亡 年 月 日

七 報 告 ノ 死 亡 場 所

八 死 亡 認 定 ノ 事 由 及 生 存 判 明 ノ 情 況

(備考)

一 官職階ハ戦死報告ト同様トスルコト

二 戦死以外ノモノハ表題及本文中「戦死」ヲ「死亡」トス

三 軍屬ニ付テハ表題及本文中「軍人」ヲ「軍屬」トス

(第一様式)

友軍陸軍部隊ノ状況 (部隊名、指揮官名、員数) 生活状況、戦争経過概要 一、般在留邦人ノ状況、取扱及 待遇改善ヲ要スベキ事項	友軍海軍部隊ノ状況	終戦ニ至ル迄ノ戦争経過ノ状況 終戦下令時ヨリ武器接收終了 迄ノ概況	現ノ部隊ノ取扱	現ノ部隊ノ状況 (戦争犯罪者又ハ抑 留者ノ有無)	生活状況 (食糧、衛生、食糧)	主要残留者職員 留員数、歸還員数	生活地	報告者 所轄 官職 氏名	在外部隊現狀調査	
									報告者	所轄

(昭和二十二年二月四日第二復員省公報)

(様式第三)

(昭和二十一年二月四日第二復員省公報)

年 月 日

殿

第二復員省人事局長

職印

(何地方復員局人事部長)

死亡證明書取消ノ件通知

竊ニ左記ノ者ニ對スル戸籍法第十六條ノ規定ニ準ズル死亡ノ届出ヲ爲サシムル爲死亡證明書ヲ送付致候處其ノ後生存シ居ルコト判明致候ニ付該證明書ハ之ヲ取消致候條本通知書ヲ以テ戸籍訂正ノ手續相成度

記

海軍、何 某

第二復員省公報 第三四號

○通 牒

三復人事局補第一號ノ二二
昭和二十一年二月四日

第二復員省人事局長

各所屬長官 殿
關係各所轄長 殿

臨時囑託採用ニ關スル件通知

件左ノ通發電ヲレクルニ付、知相成度

發 第二復員大臣

宛 内地各所屬長官

第一一六〇六番電

臨時囑託採用ニ關スル件

第一復員部内各所屬長官ハ其ノ管下ニ於テ

一 接收移管終了迄兵器施設等ノ保管ニ任ゼンムル爲必要ナル場合

二 殘務處理ノ爲必要ナル場合

三 聯合軍指令ニ依ル調査事務ノ爲必要ナル場合

以上ノ場合ニ限リ必要最小限度ニ於テ左ニ依リ囑託者ヲ臨時採用スルコトヲ得

第二復員省公報 第三四號 昭和二十一年二月五日

昭和二十一年二月五日(火)

第二復員大臣官房

一本令ニ依リ採^用囑託者ハ之ヲ臨時囑託ト稱ス

二 待遇報酬額ノ決定ハ現行囑託者待遇及報酬内規ニ據ル

三 辭令中「部内限待遇」ニ代フルニ「部内限扱」ヲ以テシ

一般囑託者ト區別スルモノトス

四 採用(解囑)ニ際シテハ其ノ都度速ニ囑託者身上取扱規則第五(第六)様式(從前海軍部内職員タリシモノニ在リテハ從前ノ官職欄ヲ加フ)ニ準ジ報告スルモノトス

五 殘務處理ニ任ズル臨時囑託ハ事務處理ヲ促進スルト共ニ成ルベク速ニ現存關係廳ニ事務ヲ引繼ギ其ノ他ニ在リテハ要務終了次第逐次解囑スルモノトス

六 第二復員省廢止ノ際臨時囑託タル者ハ同日附自然解囑セラルルモノトス

二復經理局第九號

昭和二十一年一月十五日

第二復員省總務局長

第二復員省經理局長

關係各所屬長 殿
特別輸送艦艇長 殿

日用品等配給機關ニ關スル件通牒

昭和二十年二復經理局第一號ノ二ノ中央統制日用品ノ配給機關

四二

1652

ニ關シ

大湊地方復員局

大湊出張所 青森縣大湊町

ノ欄

ノ次ニ

大阪地方復員局

大阪支店 大阪市東區北濱二丁目

ヲ

佐世保地方復員局經理部ノ欄中

博多出張所 博多市

ノ

次ニ 鹿兒島出張所

鹿兒島市

ヲ夫々追加セルニ付可然了

知アリ度

二復經理局主第六號ノ三

昭和二十一年一月二十二日

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

外地ヨリノ引揚邦人ノ持歸金ノ件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 經理局長

宛 關係各廳長

第一五二〇五番電

外地ヨリノ引揚邦人ノ持歸金ノ件

外地ヨリノ引揚邦人ノ持歸金ニ關シテハ口銀券、鮮銀券、豪銀券、滿銀券ニ限り一般人及軍屬千圓、軍人准士官以上五百圓、同下士官兵二百圓ノ限度ニ於テ持歸リ竝ニ本邦通貨トノ兩替ヲ

認メラレ居リタル處聯合國最高司令部ニ依リ右以外ノ外國通貨ヲ付テモ右ニ準ズル取扱ヲ認メラレタルヲ以テ持歸金ノ取扱要領左ノ通統一セラレ一月一日以降實施ノコトニ定メラレタルニ付可然取計ハレ度

記

持歸金ハ原則トシテ本邦通貨又ハ現地通貨ヲ携帶スル方法ニ依ルコト

二 前項ニ依リ難キ場合

(イ) 一般人

所在ノ總領事又ハ領事ノ發行スル現金預リ證ヲ携帶ニ依ルコトトシ其ノ困難ナル場合ハ所在ノ復員司令官又ハ部隊長ノ發行スル現金預リ證ニ依ルコト

(ロ) 軍人軍屬

復員司令官又ハ部隊長ノ發行スル現金預リ證ヲ携帶ニ依ルコトトシ其ノ困難ナル場合ハ所在ノ總領事又ハ領事ノ發行スル現金預リ證ヲ携帶ニ依ルコト

(註) 持歸金規定限度ノ全額ヲ通貨ノミニ依リ携帶シ得ザル場合ニハ其ノ不足額ニ付現金預リ證ヲ携帶シ得ルモノトス

三 現金預リ證ノ拂戻

日本銀行國庫代理店ニ於テ現金ノ兩替ニ準ジタル方法ニ依リ之ヲ拂戻ヲ爲スコト

四 外地ニ於テ復員司令官、部隊長、總領事又ハ領事方現金預

リ證ノ發行ニ伴ヒ受入レタル現地通貨ニ付テハ安全且確實ナル保管方法ヲ講ズルコト
五 部隊長ハ現地ニ於テ現金預リ證ノ發行ニ伴ヒ受入ルル現地通貨ノ受入實績ニ關スル毎半箇月ノ報告書三通ヲ成ルベク速ニ經理局ニ送付スルコト

二 復經理局主第七號ノ九

昭和二十一年二月一日

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

第二復員省關係勤務員ノ給與等ニ關スル件通知

自題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 第二復員大臣

宛 各所屬長官、各所轄長（内地ノミ）

第〇八一五〇〇番電

第二復員部内地所在各廳ニ勤務スル工員ノ給與ノ件

第二復員部内地所在各廳ニ勤務スル工員ニハ現行規則ニ拘ラズ本月十六日以降左ノ給與ヲ支給ス

勤勉加給

定時間外服業一時間毎ニ給料ノ十分ノ一・五ヲ支給ス

一、精勤手當

廳長ノ定ムル所ニ依リ月額十五圓以内ヲ支給スルコトヲ得

三 特殊作業手當

鑛工員、鍛工員、熔接員等特殊ノ技能ヲ有スル工員ニハ第二復員大臣ノ認許ヲ受ケ月額六十圓以内ノ手當ヲ支給スルコトヲ得

發 人事局長、經理局長

宛 關係各廳長

第二二一〇〇〇番電

徵用船員ノ年末賞與ニ關スル件

徵用船員ニシテ海軍ヨリ直接給與ヲ受クルモノノ昭和二十年ノ年末賞與ハ囑託者ニ準ジ支給スルコトニ取計ハレ度

發 第二復員大臣

宛 部内一般

第二三一〇〇〇番電

雇員、傭人工（傭）員ノ整理ニ關スル件

海軍及第二復員部内ノ各部ニ勤務スル雇員、傭人及工（傭）員ニシテ昭和二十年十一月二十四日以後整理セラレタルモノ（外地ヨリ歸還シタル者ヲ含ム）ニハ退職賞與給料月額（日給者ハ三十日分トス以下同ジ）二〇〇圓以上ノ者ハ給料ノ十八月分但シ三、八〇〇圓ニ滿タザルトキハ三、八〇〇圓、給料月額二〇〇圓未滿二〇〇圓以上ノ者ハ給料ノ十九月分但シ二、四〇〇圓ニ滿タザルトキハ二、四〇〇圓、給料月額一二〇圓未滿ノ者ハ給料二十月分ヲ支給ス但シ歸郷旅費（判任待遇者

第二復員省公報 第三四號 昭和二十一年二月五日

四三

1654

五〇〇四其ノ他三〇〇四第一三〇九二五番電参照ノ支給ヲ
受ケタル者ニ付テハ其ノ額ヲ控除ス

一 昭和二十年第一〇一三二〇番電中雇員備人工員等ノ整理ニ
伴フ給與等ニ關スル部分ヲ削リ昭和二十年十一月二十四日ヨ
リ之ヲ適用ス

發 經理局長

宛 部内一般

第二三二〇〇一番電

雇員備人工(鑛)員ノ退職賞與ニシテ定期預

金トシタルモノノ支拂解除ノ件

終戦ニ伴ヒ整理セラレタル雇員備人工(鑛)員ニ支給セラレタ
ル退職賞與ノ内定期預金トシタルモノハ客年十一月二十四日
以降其ノ支拂ヲ停止セラレアリタル所其ノ支拂期限ノ到來セル
モノハ預入銀行ニ於テ一月十八日以降支拂ヲ開始セラレタルニ
付了知アリ度

第二復員省公報 第三五號

昭和二十一年二月六日(水)
第二復員大臣官房

○令 達

内令第三二號

當分ノ間特別輸送艦船ノ定員ハ別表ニ依リ之ヲ試行ス

昭和二十一年二月一日

第二復員大臣

(別表ハ後送ス)

内令第三三號

元第五十八號海防艦

元第七十八號海防艦

元第四百四十二號海防艦

元敷設艇 粟 島

特別輸送艦トシ吳地方復員局所管ト定ム

特別輸送艦トシ佐世保地方復員局所管ト定ム

昭和二十一年二月三日

第二復員大臣

○通 牒

二復經理局主第六號ノ四

昭和二十一年二月五日

第二復員省公報 第三五號

昭和二十一年二月六日

關係各廳長殿

第二復員省經理局長

支拂停止解除ノ件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 經理局長

宛 各支出官、資金前渡官吏

第二二一一一六番電

支拂停止解除ノ件

客年十一月第二七一五二三番電及同十二月第一九一八一四番電

ニ依リ支拂停止中ノ終戰前ノ契約ニ係ル軍需品代金及軍需工場

ノ損失補償關係ノモノニ對シ其ノ總額一萬圓ヲ超エザルモノハ

之方支拂停止ヲ解除セラレタリ

二復醫務部第二四號

昭和二十一年二月五日

第二復員省經理局長

第二復員大臣官房醫務部長

關係各廳長殿

掃海艦船及特別輸送艦船乘員其ノ他ノ者部外

委託治療ニ關スル件申進

四五

第二復員部内職員給與規則第十四條ノ規定ニ該當スル患者ハ昭和二十年官房醫第一二〇號(十月十五日公報参照)ニ依リ取扱フノ外已ムヲ得ザル場合ハ從來ノ規定ニ依リ部外ニ委託治療差支無之候

追テ部外ニ患者ヲ委託治療セシメタル場合ハ部外委託患者報告、同轉歸報告一通ヲ委託地所管ノ地方復員局經理部長ニ送付シ地方復員局經理部ニ於テ其ノ支拂ヲ爲スモノトス

○ 雜 款

○郵便物宛先變更ノ件

自今本艦宛郵便物ハ左記ニ送付相成度

記

東舞鶴局氣付(特別輸送艦海第六十七號)

(特別輸送艦海第六十七號)

○出張所設置

二月一日附吳地方復員局需品部出張所ヲ左記ノ通設置シ事務ヲ開始セリ

記

- 一 岡山出張所 岡山市上伊福岡山地方復員人事部下
- 二 尾道出張所 尾道市土堂町住吉五番地

(吳地方復員局需品部)

○ 移 轉

當部(前身佐世保防備隊)ハ昭和二十年九月二十一日以降長崎縣北松浦郡鹿町村口ノ里(松浦線江迎驛下車徒歩約四十五分)ニ移轉セリ

記

追テ郵便物ハ左記宛送付相成度

長崎縣北松浦郡江迎局氣付 佐世保掃海支部

○事務開始

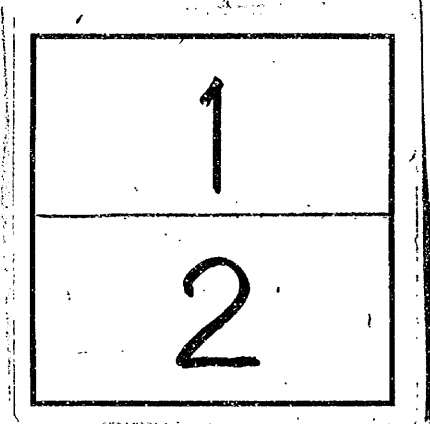
當所ヲ昭和二十年十二月一日和歌山縣田邊市神子濱文里(元田邊海兵團内)ニ設置シ事務ヲ開始セリ

(大阪地方復員局田邊上陸地連絡所)

P51) 終上保保送
52
外地歸還軍人軍服付
200 給取扱=同20
件

1657

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3版以上のため
文書等名	特別輸送艦船定員表
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

(別表)

特別輸送艦船定員表

(昭和二十一年二月六日第二復員省公報)

區分 艦名	艦長	航海長	分隊長	乘組長	機長	分隊長(機)	乘組(機)	主計長	乘務長	乘務員	計	下士官														合計													
												水兵科						機關科				主計科					看護科												
												河	操	應	信	電	電	主	補	電	内	金	木	無	計			經	衣	無	計								
葛城	大佐1	中(少)佐1	少佐(大尉)4	中(少)尉4特准3	中(少)佐1	少佐(大尉)3	中(少)尉1特准4	主少佐1	主大尉2	醫少佐1	醫大尉2	1	2	4	4	3	5	1	1	110	18	4	2	4	2	1	1	3	3	95	15	3	4	40	7	41	3	5	379
鳳翔	中(少)佐1	中(少)佐1	少佐(大尉)3	中(少)尉3	中(少)佐1	少佐(大尉)2	中(少)尉1	主少佐1	主大尉1	醫少佐1	醫大尉1	1	2	3	3	3	5	1	0	70	11	4	2	4	2	1	1	3	3	95	15	2	3	20	5	21	2	3	208
酒匂	中(少)佐1	中(少)佐1	少佐(大尉)3	中(少)尉3	中(少)佐1	少佐(大尉)3	中(少)尉1	主少佐1	主大尉1	醫少佐1	醫大尉1	1	2	2	2	3	5	1	1	60	11	4	2	4	2	1	1	3	3	95	15	2	2	16	4	17	2	2	282
鹿島	中(少)佐1	中(少)佐1	少佐(大尉)3	中(少)尉3	中(少)佐1	少佐(大尉)3	中(少)尉1	主少佐1	主大尉1	醫少佐1	醫大尉1	1	2	2	2	3	5	1	1	60	11	4	2	4	2	1	1	3	3	95	15	2	3	17	5	18	2	2	203
八雲	中(少)佐1	中(少)佐1	少佐(大尉)3	中(少)尉3	中(少)佐1	少佐(大尉)3	中(少)尉1	主少佐1	主大尉1	醫少佐1	醫大尉1	1	2	3	3	3	4	1	0	65	10	4	2	4	2	0	2	2	2	98	10	2	2	16	4	17	2	2	319
長嶮	中(少)佐1	中(少)佐1	少佐(大尉)3	中(少)尉3	中(少)佐1	少佐(大尉)3	中(少)尉1	主少佐1	主大尉1	醫少佐1	醫大尉1	1	2	2	2	2	4	1	0	60	9	4	2	4	2	0	2	2	2	98	10	2	2	16	4	17	2	2	313
元一等驅逐艦 甲型 潮	中(少)佐1	大(中)尉1	大(中)尉1	中(少)尉3特准1	少佐(大尉)1	0	中(少)尉1特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	2	1	1	3	4	1	1	25	7	2	2	3	2	0	1	1	44	9	1	1	6	1	8	1	1	146	
同 初霜	中(少)佐1	大(中)尉1	大(中)尉1	中(少)尉3特准1	少佐(大尉)1	0	中(少)尉1特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	2	1	1	3	4	1	1	25	7	2	2	3	2	0	1	1	34	11	1	1	6	1	8	1	1	146	
同 雪風	中(少)佐1	大(中)尉1	大(中)尉1	中(少)尉3特准1	少佐(大尉)1	0	中(少)尉1特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	2	1	1	3	4	1	1	30	7	2	2	3	2	0	1	1	44	9	1	1	9	1	11	1	1	150	
元一等驅逐艦 乙型 青	中(少)佐1	大(中)尉1	大(中)尉1	中(少)尉3特准1	少佐(大尉)1	0	中(少)尉1特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	2	1	1	3	4	1	1	35	7	2	2	3	2	0	1	1	34	11	1	1	11	2	12	1	1	151	
元一等驅逐艦 丁型 松	中(少)佐1	大(中)尉1	大(中)尉1	中(少)尉3特准1	少佐(大尉)1	0	中(少)尉1特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	2	1	1	3	4	1	1	25	7	2	2	3	2	0	1	1	44	9	1	1	9	1	10	1	1	141	
元二等驅逐艦 栗	中(少)佐1	大(中)尉1	大(中)尉1	中(少)尉3特准1	少佐(大尉)1	0	中(少)尉1特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	1	1	1	3	4	1	1	20	6	2	2	2	1	0	1	1	44	7	1	1	4	1	5	1	1	129	
同 朝顔	中(少)佐1	大(中)尉1	大(中)尉1	中(少)尉3特准1	少佐(大尉)1	0	中(少)尉1特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	1	1	1	3	4	1	1	20	6	2	2	2	1	0	1	1	44	7	1	1	4	1	5	1	1	129	
元海防艦 甲型 占守	中(少)佐1	大(中)尉1	大(中)尉1	中(少)尉3特准1	少佐(大尉)1	0	中(少)尉1特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	2	1	1	3	4	1	1	20	7	2	2	3	2	0	1	1	14	7	1	1	4	2	5	1	1	97	
同 鶴來	中(少)佐1	大(中)尉1	大(中)尉1	中(少)尉3特准1	少佐(大尉)1	0	中(少)尉1特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	2	1	1	3	4	1	1	20	7	2	2	3	2	0	1	1	14	7	1	1	4	2	5	1	1	97	
元海防艦 丙型 (奇數番號艦)	中(少)佐1	大(中)尉1	大(中)尉1	中(少)尉3特准1	少佐(大尉)1	0	中(少)尉1特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	2	1	1	3	4	1	1	18	7	2	2	3	2	0	1	1	14	7	1	1	4	2	5	1	1	95	
元海防艦 丁型 (偶數番號艦)	中(少)佐1	大(中)尉1	大(中)尉1	中(少)尉3特准1	少佐(大尉)1	0	中(少)尉1特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	2	1	1	3	4	1	1	20	7	2	2	3	2	0	1	1	21	5	1	1	4	2	5	1	1	101	
元一等輸送艦 (番號09以下)	中(少)佐1	大(中)尉1	大(中)尉1	中(少)尉3特准1	少佐(大尉)1	0	中(少)尉1特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	2	1	1	3	4	1	1	25	7	2	2	3	2	0	1	1	44	9	1	1	6	1	8	1	1	146	
元二等輸送艦 (番號10以上)	中(少)佐1	大(中)尉1	大(中)尉1	中(少)尉3特准1	少佐(大尉)1	0	中(少)尉1特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	2	1	1	3	4	1	1	20	7	2	2	3	2	0	1	1	31	5	1	1	5	1	7	1	1	108	
箕面	中(少)佐1	大(中)尉1	大(中)尉1	中(少)尉3特准1	少佐(大尉)1	0	中(少)尉1特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	2	1	1	3	4	1	1	35	7	2	2	3	2	0	1	1	44	9	1	2	12	3	13	1	1	163	
神島	中(少)佐1	大(中)尉1	大(中)尉1	中(少)尉3特准1	少佐(大尉)1	0	中(少)尉1特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	2	1	1	3	4	1	1	20	7	2	2	3	2	0	1	1	40	8	1	1	4	2	5	1	1	129	
巨濟	中(少)佐1	大(中)尉1	大(中)尉1	中(少)尉3特准1	少佐(大尉)1	0	中(少)尉1特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	2	1	1	3	4	1	1	18	7	2	2	3	2	0	1	1	45	5	1	1	4	1	6	1	1	121	
光濟	中(少)佐1	大(中)尉1	大(中)尉1	中(少)尉3特准1	少佐(大尉)1	0	中(少)尉1特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	1	1	1	3	4	1	0	20	4	2	2	3	2	0	1	1	48	8	1	1	10	2	11	1	1	138	
加德	中(少)佐1	大(中)尉1	大(中)尉1	中(少)尉3特准1	少佐(大尉)1	0	中(少)尉1特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	1	1	1	3	4	1	0	15	4	2	2	3	2	0	1	1	40	6	1	1	3	5	1	1	1	107	
鷺埼	中(少)佐1	大(中)尉1	大(中)尉1	中(少)尉3特准1	少佐(大尉)1	0	中(少)尉1特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	1	1	1	3	4	1	0	10	2	3	3	3	2	0	1	1	10	2	1	1	2	4	1	1	1	58	
元 驅 潜 艇	大尉1	中(少)尉1	0	特准2	大(中)尉1	0	特准3	尉官1	0	尉官1	0	1	1	1	1	3	4	1	0	15	4	0	1	0	1	2	1	1	14	4	1	1	4	6	1	1	1	76	
筑紫丸	大佐1	少佐(大尉)1	少佐(大尉)1	中(少)尉3特准1	中(少)尉1	少佐(大尉)1	中(少)尉1特准4	主少佐1	主大尉1	醫少佐1	醫大尉1	1	2	2	2	2	4	1	0	60	9	2	0	4	2	0	2	2	77	1	1	1	4	6	1	1	1	22	

第二復員省公報 第三五號

昭和二十一年二月六日(水)

第二復員大臣官房

命令 遵

内令第二二號

當分ノ開特別輸送艦船ノ定員ハ別表ニ依リ之ヲ試行ス

昭和二十一年二月一日

第二復員大臣

(別表ハ後送ス)

内令第二三號

元第五十八號海防艦

元第七十八號海防艦

元第四百四十二號海防艦

右特別輸送艦トシ吳地方復員局所管ト定ム

元敷設艇 粟 島

右特別輸送艦トシ佐世保地方復員局所管ト定ム

昭和二十一年二月三日

第二復員大臣

通 牒

二復員省公報 第三五號

昭和二十一年二月五日

第二復員省公報 第三五號 昭和二十一年二月六日

關係各廳長殿

第二復員省經理局長

支拂停止解除ノ件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 經理局長

宛 各支出官、資金前渡官吏

第二二二一六番電

支拂停止解除ノ件

客年十一月第二七二五三番電及同十二月第一九一八四番電

ニ依リ支拂停止中ノ終戦前ノ契約ニ係ル軍需品代金及軍需工場

ノ損失補償關係ノモノニ對シ其ノ總額一萬圓ヲ超エザルモノハ

之ガ支拂停止ヲ解除セラレタリ

二復員省經理局長

昭和二十一年二月五日

第二復員大臣官房經理局長

關係各廳長殿

掃海艦船及特別輸送艦船乘員其ノ他ノ者部外
委託治療ニ關スル件中進

四五

1660

2-20

第二復員省職員給與規則第十四條ノ規定ニ該當スル患者ハ昭和二十年官房醫第二〇號(十月十五日公報參照)ニ依リ取扱フノ外已ムヲ得ザル場合ハ從來ノ規定ニ依リ部外ニ委託治療差支無之候

追テ部外ニ患者ヲ委託治療セシメタル場合ハ部外委託患者報告、同轉歸報告一通ヲ委託地所管ノ地方復員局經理部長ニ送付シ地方復員局經理部ニ於テ其ノ支拂ヲ爲スモノトス

○雜款

○郵便物宛先變更ノ件

自今本館宛郵便物ハ左記ニ送付相成度

記

東舞鶴局氣付 特別輸送艦海第六十七號

(特別輸送艦海第六十七號)

○出張所設置

二月一日附吳地方復員局需品部出張所ヲ左記ノ通設置シ事務ヲ開始セリ

記

一 岡山出張所 岡山市上伊福岡山地方復員人事部内

二 尾道出張所 尾道市土堂町住吉五番地

(吳地方復員局需品部)

○移轉

當部(前身依世保防備隊)ハ昭和二十年九月二十一日以降長崎縣北松浦郡鹿町村口ノ里(松浦線江迎驛下車徒歩約四十五分)ニ移轉セリ

追テ郵便物ハ左記宛送付相成度

記

長崎縣北松浦郡江迎局氣付 依世保掃海支部

(依世保掃海支部)

○事務開始

當所ヲ昭和二十年十二月一日和歌山縣田邊市神子濱文里(元田邊海兵團内)ニ設置シ事務ヲ開始セリ

(大阪地方復員局田邊上陸地連絡所)

第二復員省公報 第三六號

昭和二十一年二月七日(木)
第二復員大臣官房

○令 達

達第三號

地方復員局處務規程中左ノ通改正ス

昭和二十一年二月六日

第二復員大臣

第十二條中佐世保地方復員局上陸地連絡所ノ項「博多、」ノ下ニ「唐津、別府、」ヲ、大阪地方復員局上陸地連絡所ノ項下欄「大阪」ノ下ニ「、田邊」ヲ加フ

(昭和二十一年十二月一日日本欄参照)

内令第二四號

昭和二十年内令第二號第二復員省、地方復員局及地方復員人事部ノ定員ノ件中左ノ通改正ス

昭和二十一年二月六日

第二復員大臣

地方復員局定員表備考第三號中「理事官」ノ下ニ「又ハ技師」ヲ加フ

(昭和二十一年十二月三日第二復員省公報参照)

○通 牒

第二復員省公報 第三六號 昭和二十一年二月七日

二復人事局扶第一號ノ一三

昭和二十一年二月六日

第二復員省人事局長

關係各廳長殿

戦死、戦傷病死者、戦傷病者ノ發表及英靈引渡ニ關スル件中進

終戦後ニ於ケル首題ノ件ニ關シテハ左記ニ依リ取扱フコトニ定メラレ候

追テ昭和十六年十二月二十六日海人機密第八六號戦死、戦傷病死者、戦傷病者ノ發表ニ關スル件中進ハ之ヲ廢止ス

記

一 遺家族ヘノ通知ハ成ルベク之ヲ速ニ行ヒ又戦歿ノ狀況ハ成ルベク之ヲ詳細ニ發表スルモノトス

二 英靈引渡式ハ遺族ヘノ通知後成ルベク速ニ之ヲ實施スルモノトシ同時ニ處理スベキ祭料、供物料、賜金等ハ若シ間ニ合ハザレバ之ヲ別途引渡ノコトニ取計フモノトス

○雜 款

○第十二海軍航空廠派遣工員ニ對スル退職賞與ノ件
首題ノ件當廠派遣工員ニ對シテハ退職賞與金額支給済ニ付可然

四七

1662 2-20

取計相成度

(第十二海軍航空廠殘務整理班)

○移轉

當部補充班ハ一月二十一日舞鶴市宇長濱(舊舞鶴潜水艦基地)ニ移轉セリ
(舞鶴地方復員局艦船運航部)

○事務開始

當支部ハ一月二十五日左記ニ於テ事務ヲ開始セリ

記

函館支部

函館市地藏町九番地北陸銀行函館支店內

(電話函館 六二三番 六二四番)

旭川支部

旭川市四條十二丁目旭川市役所内

(電話旭川 四一四六番)

(札幌地方復員人事部)

○殘務整理

南西諸島海軍航空隊石垣島派遣隊(七一七〇)ハ六月二十五日解隊同日附北臺海軍航空隊ニ編入セラレ解隊ニ伴フ殘務整理ハ石垣島航空基地ニ於テ之ヲ行フ
(北臺海軍航空隊石垣島派遣隊)

第二復員省公報 第三七號

昭和二十一年二月十三日(水)
第二復員大臣官房

○令 達

達第四號

第二復員部内臨時物價手當支給規則中左ノ通改正ス

昭和二十一年二月十二日

第二復員大臣

第一條第三號中「在ル者」ノ下ニ「(輸送艦船乗員ヲ除ク)」ヲ加フ

附則第三項ヲ削ル

附則

昭和二十一年一月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

達第五號

第二復員部内職員給與規則中左ノ通改正ス

昭和二十一年二月十二日

第二復員大臣

第六條中「文官同待遇者」ノ下ニ「嘱託者」ヲ加フ

第十條中「陸上ニ在ル豫備員ヲ含ム」ノ下ニ「以下之ニ同ジ」ヲ加フ

第一表ノ(ロ)中

職員及傭人

給料ノ十分ノ三但シ月額二十四ニ滿タザルトキハ月額二十ニ改ム

ヲ

賜 者	奏任待遇者	報酬月額ノ十分ノ一
者	判任待遇者	同
職員及傭人	給料ノ十分ノ三但シ月額二十四ニ滿タザルトキハ月額二十ニ改ム	十分ノ二

附則

昭和二十年十二月二十九日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

官房總第一七號

聯合軍側ノ指定セル海軍關係戰爭犯罪容疑者ノ取扱ニ關シ左ノ通定ム

昭和二十一年一月三十日

第二復員大臣

一 聯合軍側ノ指定セル海軍關係戰爭犯罪容疑者(以下犯罪容疑者ト略稱ス)ハ昭和二十一年官房總第一三號海軍關係戰爭犯罪容疑者等ノ取扱要領ニ依リ召致ノ上聯合軍側ニ引渡スモノトス

二 犯罪容疑者抑留中ノ身分取扱ハ左ニ依ルヲ例トス

(イ) 第二復員部内勤務者ハ高等官ニ在リテハ第二復員省出仕、召集軍人タル判任官、職員及傭人ニ在リテハ所屬各地方復員局附、共ノ他ノ者ニ在リテハ現所屬處附トス但シ諸

第二復員省公報 第三七號 昭和二十一年二月十三日

四九

給與ハ之ヲ停止ス

(ロ) 解員セラレタル者ハ召集セザルモノトス

(ハ) 第二復員省廢止後ノ取扱ハ別ニ定ム

(ニ) 外地ニ於ケル犯罪容疑者ノ取扱ハ聯合軍側ヨリ正式通知

アリタルトキヨリ前諸項ニ依リ處理ス

三 犯罪容疑者抑留後ノ連絡(家族ニ對スル連絡ヲ含ム)ハ前

號所定ノ各廳ニ於テ之ヲ擔當スルモノトス

附 則

昭和二十年十月二十四日官房軍機密第七六七號(聯合軍側ノ所
謂戰爭犯罪容疑者中海軍軍人及軍屬ノ身分取扱ニ關スル件)ハ
之ヲ廢止ス

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

自今本艦宛郵便物ハ左記ニ送付相成度

記

鹿兒島郵便局氣付

特別輸送艦北上

(特別輸送艦北上)

○ 事務開始

本艦ハ二月二日艦裝員事務所ヲ大阪府泉南郡川崎造船所内ニ設
置シ事務ヲ開始セリ

(第七十八號海防艦裝員事務所)

第一復員省公報 第三八號

昭和二十一年二月十四日(木)

第二復員大臣官房

○通牒

二復經理局主第七號ノ二二
昭和二十一年二月十二日

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

外地歸還海軍軍人軍屬ノ解員ノ際ニ於ケル給
與取扱ニ關スル件通牒

首題ノ件左記要領ニ依リ處理相成度

記

外地歸還海軍軍人軍屬解員給與取扱要領

- 一 内地以外ノ地ヨリ歸還ノ海軍軍人軍屬(工員ヲ含ム)(以下
單ニ歸還者ト稱ス)輸送艦船便ニ依リ内地港灣ニ歸着シタル
トキハ最寄地方復員局上陸地連絡所復員部主計課長(以下單
ニ復員部主計課長ト稱ス)ハ速ニ(ナルベク検査開始前)別
紙様式ノ外地歸還海軍軍人軍屬申告書(以下單ニ申告書ト稱
ス)ヲ各人ヨリ提出セシムルモノトス
- (註) 申告書用紙ハ豫メ輸送艦船主計長ニ交付シ置キ航海中
本人ヲシテ記註セシムルモノトス
- 二 復員部主計課長ハ歸還軍人軍屬ニ對シ左ノ給與ヲ支給スル
モノトス

(イ) 退職費與

第二復員省公報 第三八號 昭和二十一年二月十四日

(一) 受給者ノ範圍

雇員、傭人及工員(雇員傭人待遇囑託者ヲ含ム)

(二) 支給金額

給料月額(日給者ハ三十日分トス以下同ジ)二〇〇圓以
上ノ者給料ノ十八月分但シ三、八〇〇圓ニ滿タザルトキ
ハ三、八〇〇圓

給料月額二〇〇圓未滿一〇〇圓以上ノ者ハ給料ノ十九月
分但シ二、四〇〇圓ニ滿タザルトキハ二、四〇〇圓
給料月額一〇〇圓未滿ノ者ハ給料二十月分

(ロ) 歸郷旅費

(一) 受給者ノ範圍

退職費與ノ支給ヲ受ケザル者全部

(二) 支給金額

親任 官 一、二〇〇圓

勅任官同待遇者 九〇〇圓

委任官同待遇者 七〇〇圓

判任官同待遇者 五〇〇圓

其他 三〇〇圓

(註) 雇員、傭人、工(傭)員、無待遇囑託者ニハ歸郷
旅費ヲ支給セズ

五一

(六) 遭難服裝手當

(一) 受給者ノ範圍

准士官以上及文官同待遇者 (判任待遇以上ノ嘱託者ヲ含ム)

(二) 支給金額

將 官 五五〇圓

佐 官 五〇〇圓

尉官、特務士官 四五〇圓

候補生、見習尉官 一五〇圓

准士官 四〇〇圓

高等文官同待遇者 三〇〇圓

判任文官同待遇者 二〇〇圓

(註) 全員被服物品ヲ亡失、毀損シタルモノト看做ス

三 歸還者輸送艦船便乗中ノ旅費ハ之ヲ支給セズ

(註) 便乗中ノ旅費ハ退職賞與又ハ歸郷旅費ノ中ニ含ミテリ

四 復員部主計課長ハ申告書乙片 (係給家族下渡中ノ者ノ分タルト否トヲ問ハズ)ヲ切取り之ニ解員年月日ヲ記入シ捺印(職印)ノ上之ヲ (給與通牒アルトキハ共ニ) 連ニ係給家族下渡

應ニ移牒スルモノトス

五 係給家族下渡廳ニ於テハ第二復員部内係給家族下渡規則第十八條ノ規定ニ拘ラズ前號ノ移牒ニ依リ解員ノ月ノ前月迄ノ給與中過不足アルコト明ナルモノニ付テハ規定通處理シ解員ノ月ノ俸給、特別加俸、戰時増俸 (戰地又ハ準戰地陸上所定

額)、戰時増給 (戰地又ハ準戰地ノ陸上標準額)、勤続手當及臨時家族手當ニ付テハ其ノ月ノ末日迄之ヲ支給ス但シ十回未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツルコトヲ得

(註) 一 第四號ノ移牒ニ依リ新ナル家族ノ請求ト看做ス

二 現ニ全然家族渡ヲ爲シ非ザル者ニ付テハ送金前重復送金セザル様他ノ家族下渡廳ニ連絡スルモノトス

三 現ニ全然家族渡ヲ爲シ非ザル者ニ對シテハ申告書乙片記載ノ歸郷先ノ本人宛送金スルモノトス

六 復員部主計課長ハ歸還者ニ對シ解員歸郷後申告書記載ノ歸郷先以外ノ地ニ住所ヲ定メタルトキハ速ニ元所轄、官等級、氏名及住所ヲ係給家族下渡廳ニ通知スベキ旨指示ヲ與フルモノトス

七 復員部主計課長ハ退職賞與、歸郷旅費及遭難服裝手當ヲ支給シタルトキハ申告書甲片ニ本人ノ受領印 (印判ヲ所持セザルトキハ捺印トス)ヲ徴シ申告書甲片ヲ以テ計算證明上ノ證據ト爲スコトヲ得

八 昭和二十年經給第一四三號ハ之ヲ廢止ス

(別紙添)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

山口縣大津郡仙崎町郵便局氣付

(特別檢送 繼加徳)

(甲片)

外地歸還海軍軍人軍屬申告書						
所轄	派遣元廳	官等級	額若月報酬又ハ給額月	氏名	(振假名ヲ付ス)	
歸郷先						
今迄ニ解員(整理)ニ伴フ退職賞與又ハ歸郷旅費ノ支給ヲ受ケタカ否カ						
復員收容部ニテ支給スル退職賞與、歸郷旅費及遭難服装手當	金額		退職賞與	歸郷旅費	遭難服装手當	
	支給年月日		回	回	回	
	受領者印					
解員年月日	(復員收容部ニテ記入ス)					
	昭和	年	月	日		

(乙片)

外地歸還海軍軍人軍屬申告家族下渡ノ部							昭和	年	月	日	移牒	團
所轄	派遣元廳	官等級	額若月報酬又ハ給額月	特種技行章章	入籍番號	氏名						
歸郷先				最便寄局	局	扶養員數	人					
解員ノ際家族渡ヲ爲スベキ給與	給料報酬	職時増作	家族手當	勤続手當	賞與	特別加俸						
現ニ家族渡中ノモノ	回	回	回	回	回	回						
現ニ家族渡中ニ非ズルモノノ現地ニテ支給ヲ受ケタル分	。 月分迄	月分迄	月分迄	月分迄	月分迄	月分迄						
解員年月日	(復員收容部ニテ記入ス)											
	昭和	年	月	日								
備考 本様式ハ標準ヲ示シタルモノナルヲ以テ適宜變更シ又ハ任用進級年月等追加差支ナシ												

(別紙)(用紙模造全葉)

(昭和二十二年二月十四日第二復員省公報)

1668

第二復員省公報 第三九號

昭和二十一年二月十五日(金)
第二復員大臣官房

○通 牒

官房經第九號

昭和二十一年二月六日

第二復員次官

各地方復員局長官殿
豫算運用ニ關スル件申進

臨時軍事費特別會計ハ近ク廢止セラレ二月以降ノ諸經費ハ一般會計豫算ヲ以テ支辨サルル豫定ノ處一般會計豫算ハ極度ニ緊縮アリテ當省所管ノ諸經費モ極端ニ縮減セザル限り到底之ヲ支辨困難ニシテ豫算運用上未曾有ノ難關ニ達スル實情ニ候條人員ノ整理及資材ノ節用等充分留意ノ上入件費タルト物件費タルトノ間ハズ荷セ節約シ得ル經費ハ極力之ヲ抑制ニ努メ豫算運用上萬全ノ措置ヲ講ズルト共ニ新規ノ豫算需要ニ就テハ勿論豫算外ノ臨時支拂就テモ豫メ中央及地方共主務局部下充分協議シ荷テ豫算外ノ臨時支拂充分ノ爲經費支出上齟齬ヲ來スガ如キコトナキ様管下各部ヲ鞭撻指導相成度

二復員省公報 第三九號
昭和二十一年二月四日

二復員省經理局長

二復員省公報 第三九號 昭和二十一年二月十五日

各地方復員局經理部長殿

臨時軍事費豫算現況ニ關スル件通牒

臨時軍事費特別會計ハ近ク終結ノ豫定ニ付至急所管各部ノ分ヲ取纏メ左記報告相成度

追テ支拂額早急取纏メ困難ノ場合ハ支出額ヨリ預託金ヲ差引キタルモノフ支拂額ト看做シ差支無之

豫算令示受額 二十年七月迄 ノ累計	支出額	支拂額	支 出 残 額	支 拂 残 額	特 殊 決 算 額
八月					
九月					
十月					
十一月					
十二月					
二十一年一月					

二復員省公報 第三九號
昭和二十一年二月五日

五三

第二復員省經理局長

各地方復員局經理部長殿

豫算狀況報告ノ件通牒

臨時軍事費豫算ノ廢止ニ伴ヒ豫算ハ極度ニ逼迫シ其ノ運用ハ極メテ困難ト可相成候條所管各部ノ分ヲ取纏メ毎月月頭電報並ニ書類ヲ以テ左記報告提出方勵行相成度

記

前月 支出額	前月 支拂額	豫算 殘額	支拂 殘額	當月前 要求豫定額	備考

二復經理局主第四號ノ一一

昭和二十一年二月六日

第二復員省經理局長

各地方復員局經理部長殿

雇員備入及工員月額報告ニ關スル件通牒

豫算運用上必要ニ付二月以降左記ニ對スル月頭報告別紙様式ニ依リ提出方勵行相成度

記

囑託者、雇員、備入、工員

(別紙)

科目	職名	金額合計額	各 部 別 員 數			計
			人事	經理	掃海	
			人	人	人	

備考

金額及人員ハ左ノ區分ニ依リ計上ノコト

囑託 臨時囑託
兼務囑託

雇員 官補待遇 (判任待遇)
兵タル身分ノ雇員

備入 雇員待遇ノ備入
艦營備入

○ 雜 款

○ 移 轉

横須賀地方復員局人事部横濱支部ハ二月十三日横濱市南區花ノ木町藤田國民學校内ヨリ横濱市中區櫻木町中區役所内(櫻木町驛前)ニ移轉セリ

(横須賀地方復員局人事部横濱支部)

第二復員省公報

第四〇號

昭和二十一年二月十六日(土)

第二復員大臣官房

○令 達

内令第二五號

元軍艦 北 上

元第七十四號輸送艦

隨特別輸送艦トシ佐世保地方復員局所管ト定ム

佐世保地方復員局所管

特別輸送艦 龍平丸

有特別輸送船ヲ解ク

昭和二十一年二月十日

第二復員大臣

主計

官房庶務課長

第二復員大臣官房庶務課長

往復乗車券購入ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 官房庶務課長

宛 各廳長

第二復員省公報 第四〇號 昭和二十一年二月十六日

第七一六四番電

往復乗車券購入照會ノ件

東京ニ於ケル遠距離乗車券ノ購入ハ極メテ困難ナルニ付短時日ノ上京者ニ對シテハ必ズ往復乗車券ヲ購入セシムル様取計ハレ度

二復員局長第六號ノ五

昭和二十一年二月五日

第二復員省經理局長

關係各廳長 殿

軍事郵便貯金通帳ノ携帶輸入並ニ拂戻ノ件通知

首題ノ件ニ關シ左記ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 經理局長

宛 關係各廳長

第一九一〇四番電

軍事郵便貯金通帳ノ携帶輸入並ニ拂戻ノ件

今般聯合國最高司令部ノ指令ニ基キ外地ヨリノ歸還軍人等ノ軍事郵便貯金通帳ハ之ガ携帶輸入並ニ拂戻ヲ認メラルコトナレリ但シ海軍軍用郵便所又ハ野戰郵便局ニ於ケル預入額拂戻ニ付テハ千圓以下トシ其ノ限度ノ拂戻ヲ爲シ猶殘額アルトキハ將

五五

來調整ヲ爲ス爲郵便局ニ於テ一應當該通帳ヲ保管ス尙既ニ本邦ニ歸還上陸ノ際所管海運局ニ通帳ヲ預託セシメラレタル者ニ對シテハ當該海運局ヲシテ請求ニ應ジ之ヲ本人ニ返還セシメラル

二復經理局主第二號ノ六

昭和二十一年二月八日

第二復員省經理局長

各資金前渡官吏殿

預託金ノ引出停止ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 經理局長

宛 各資金前渡官吏殿

第二八一〇三八番電

預託金ノ引出停止ニ關スル件

聯合軍ノ指令ニ基キ二十六日以降臨時軍事費ノ支出及臨軍支辨ノ支拂ノ爲ニスル預託金ノ引出ヲ停止ス一般會計ヘノ切替ニ付テハ追テ通知ス

二復經理局會資第一四號ノ三

昭和二十一年二月五日

第二復員省經理局主任出納官吏

關係各分任出納官吏殿

前渡資金現況報告書ノ書式ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通照會致置候條可然取計相成度

(別紙)

二復經理局會資第一四號ノ二

昭和二十一年一月二十三日

第二復員省經理局主任出納官吏

各地方復員局經理部分任出納官吏殿

前渡資金現況報告書ノ書式ニ關スル件照會

首題ノ件ニ關シテハ舊經理部支出官ノ資金前渡官吏ヨリ分任出納官吏トナリタル各部ニシテ「受拂報告書」等ニ依リ報告スル向有之候處當局事務處理上「海軍會計規程第二十一號書式(艦隊經費前渡資金現況報告書)但「艦隊經費」ヲ抹消ノコト」ニ統一致度候條自今同書式ニ依リ提出相成様貴管下各部ニ對シ可然指尊相成度

○雜 款

○正誤

第二復員省公報第三〇號令遠欄三一頁上段官房經第二號中「第二復員本省」ノ款ハ「一般費」、「行政費」ノ項ハ「海軍本省」ノ誤

第二復員省公報 第四一號

○通牒

官房總第二二號

昭和二十一年二月十九日

第二復員大臣官房庶務課長

關係各廳長殿

郵傳物ニ關スル件通牒

客年十二月五日附官房總第九號通牒首題ノ件申左記ノ通改メテ

レ候

記

第一項(海軍)中「海軍部隊ノ所在地區別符別冊ノ通」ヲ「海軍部隊ノ所在地區別符及部隊區別符(別冊ノ通)」ニ改ム
(別冊部隊區別符表ハ後送ス)

第二復員省第六號ノ一〇
昭和二十一年二月十五日

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

北支引揚邦人ノ持歸金ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ大藏省外資局長ヨリ別紙ノ通通知有之候條了知相成度

第二復員省第四一號 昭和二十一年二月十九日

昭和二十一年二月十九日(火)

第二復員大臣官房

別紙
藏外爲第四〇三號

昭和二十年十二月二十八日

大藏省外資局長

第二復員省經理局長殿

北支引揚邦人ノ持歸金ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ本日別紙ノ通各海運局長宛通牒致シタルニ付御諒知相成度

昭和二十年十二月二十八日

藏外爲第四〇三號

大藏省外資局長
海運總局長 官

各海運局長殿

北支引揚邦人ノ持歸金ニ關スル件

青島ヨリノ引揚邦人ニシテ正金銀行青島支店發行ノ小切手(持歸金トシテ認メラレタル現金千圓ノ替リトシテ持參セルモノ)ヲ持歸リ現ニ海運局ニ於テ保管中ノモノニ對シテハ便宜海運局發行ノ保管證ニ據リ正金銀行ヲシテ是ガ支拂ヲ爲サシムルト共ニ其ノ旨該證ニ裏書ヲセシムルコトト致候條御諒知相成度

五七

1673

追而自今本人ヨリ前記保管證ニ依ル保管物件ノ返還要求アリタルトキハ此ノ點特ト御留意相煩度右爲念
尙前項取扱ニ據リ正金銀行方該小切手ノ支拂ソ了セル都度保管海運局宛共ノ旨通報ノ管ニ付進而同行ヨリ右支拂濟小切手ノ返還請求アリタル場合ノ適宜引渡方御取計相成度
右併而及通牒候也

二復員省會費第一三號ノ二

昭和二十一年二月五日

第二復員省經理局主任出納官吏

關係各分任出納官吏殿

殘務整理時ニ於ケル諸報告書類等ノ提出方勵

行ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通照會致置候條可然取計相成度

別紙

一復經理局會費第一三號

昭和二十一年二月二十五日

第二復員省經理局主任出納官吏

各地方復員局經理部

各地方復員局上陸地連絡所

殘務整理時ニ於ケル諸報告書類等ノ提出方勵

行ニ關スル件照會

首題ノ件ニ關シテハ客年九月三十日附經繼第八號ノ一七八及同第八號ノ一七九通知ニ依リ内地各部ニ在リテハ從來トモ勵行相

成居候處特ニ在外各部等ニシテ内地歸着時所管地方復員局經理部又ハ上陸地連絡所ニ於ケル殘務整理ノ際ニモ同様此等提出未済ノ諸報告書類(特ニ最終現況報告書ハ陸軍決算上不可缺ノモノナルニ付)及提出済ナルモ不達ヲ豫想セラルル書類ハ可及的連ニ提出セシムル様就中前記最終現況報告書、陸軍部隊ニ對スル立替金及軍用郵便所過剩金ノ振替受領等ニ付テハ連ニ主任官吏トノ連絡ヲ密ニセラルル様特ニ指導ヲ得度

○雜 款

○郵便物發送先

自今本繼宛郵便物ハ左記ニ送付相成度

博多局氣付

第二十一號掃海艇

(第二十一號掃海艇)

○移轉

當部ハ昭和二十年十月二十日松山市道後湯ノ町(松山市役所道後出張所階上)ニ移轉セリ

(松山地方復員人事部)

後出張所階上)ニ移轉セリ

(松山地方復員人事部)

第二復員省公報 第四二號

○令 達

内令第二六號

元雜役船 津 久茂

特別輸送船トシ吳地方復員局所管ト定ム

昭和二十一年二月五日

第二復員大臣

庶務 第二〇號

當分ノ間特別輸送艦船大臣褒賞要領左ノ通定ム

昭和二十一年二月十八日

第二復員大臣

特別輸送艦船大臣褒賞要領

第一條 特別輸送艦船ニシテ輸送成績優秀ナルモノヨリ本要領ニ依リ大臣賞ヲ授與ス

第二條 大臣賞ヲ授與スベキ艦船ハ既往三月間ノ成績ヲ審査シ其ノ都度第二復員大臣之ヲ定メ各地方復員局長官ヲシテ之ヲ授與セシム

第三條 大臣賞ノ賞品ハ當該艦船乗員一人ニ付二圓ノ割合ヲ以テ各地方復員局長官之ヲ購入スルモノトス

第四條 各地方復員局長官大臣賞ヲ授與シタルトキハ艦船名毎

第二復員省公報 第四二號 昭和二十一年二月二十日

官房

昭和二十一年二月二十日(水) 第二復員大臣官房

官房第一三號

本年二月一日現在ノ在籍者ニ付左記ニ依リ臨時賞與ヲ支給ス

昭和二十一年二月十八日 第二復員大臣

記

區分 賞與額 (本俸又ハ給料ニ付)

軍人、文官同待遇者、嘱託者 二・五月分以内

雇員、徴用船員(月給者) 七・五日分以内

備 一 本賞與額ハ左ニ依ルモノトス
最高八〇〇圓ヲ超エズ最低ハ扶養家族アル者ニ付テハ二〇〇圓、扶養家族ナキ者ニ付テハ一〇〇圓ヲ下ラサルモノトス

二 廳長ハ部下勤務員ノ勤意其ノ他ニ依リ適宜減額スルコトヲ得

三 嘱託者中一時ノ報酬ヲ受クル者及本官アル者ニ對シテハ支給セザルモノトス

考

官房第一六號

一 當分ノ間第二復員部内職員公務ニ依リ内地ヲ旅行スルトキ

五九

1675

支給スベキ宿泊料ハ海軍内國旅費規則第四表及第五表ノ規定ニ拘ラス別表ニ依ル
 一 海軍内國旅費規則第三十九條ハ當分ノ間之ヲ適用セズ
 二 本令ハ昭和二十一年一月一日以後ノ旅行ニ付之ヲ適用ス
 昭和二十一年二月十九日

第二復員大臣

(別表)

第四表 普通旅費

旅費等級	一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等	九等
	五〇〇〇	四〇〇〇	三〇〇〇	二〇〇〇	一五〇〇	一〇〇〇	七〇〇	五〇〇	三〇〇
料宿泊	甲地	乙地	丙地	丁地	戊地	己地	庚地	辛地	壬地
	四〇〇〇	三〇〇〇	二〇〇〇	一五〇〇	一〇〇〇	七〇〇	五〇〇	三〇〇	二〇〇
備考	甲地方トハ東京都ノ區ノ存スル區域竝ニ市制及府制施行地ヲ、乙地方トハ其ノ他ノ地域ヲ謂フ								

第五表 特定旅費

旅費等級	一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等	九等
	五〇〇〇	四〇〇〇	三〇〇〇	二〇〇〇	一五〇〇	一〇〇〇	七〇〇	五〇〇	三〇〇
料宿泊	甲地	乙地	丙地	丁地	戊地	己地	庚地	辛地	壬地
	四〇〇〇	三〇〇〇	二〇〇〇	一五〇〇	一〇〇〇	七〇〇	五〇〇	三〇〇	二〇〇
備考	甲地方トハ東京都ノ區ノ存スル區域竝ニ市制及府制施行地ヲ、乙地方トハ其ノ他ノ地域ヲ謂フ								

○ 通 牒

一 復員局長第七號ノ一三
 昭和二十一年二月十八日

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

第二復員省關係勤務員ノ給與等ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 經理局長

宛 部内一般

第二八一〇四〇番電

解員又ハ整理セラレタル軍人軍屬ノ給與取扱

ニ關スル件

解員又ハ整理セラレタル軍人軍屬ニ對スル給與取扱ハ左記ニ依リ處理セラレ度

記

歸還軍人軍屬ニ支給スル給與ハ退職賞與(雇員傭人工(續)員ニ限ル以下之ニ同ジ)ヲ除キ外地歸還海軍軍人軍屬申書書ニ依リ俸給又ハ給料(報酬ヲ含ム)ノ俸給家族下渡ヲ爲ス經理部又ハ經理局(派遣元廳アルモノハ當該派遣元廳)ニ於テ支給スルモノトス給與通牒ニ依リ解員ノ月ノ前月迄ノ給與中過不足アルモノ及申書書ニ依リ過不足アリト判定シタルモノノ處理ニ付亦同ジ外地歸還者ニ對スル退職賞與ハ上陸地連絡所復員部ニ於テ現金ヲ以テ本人ニ支給ス

1921

二 昭和二十年十一月二十四日以降歸鄉旅費ノミヲ支給シタル
雇員傭人及工(傭)員ニ對シテハ第二三〇〇番電ニ依リ
支給スルコトトナリタル退職賞與ヨリ既ニ支給済ノ歸鄉旅費
ヲ控除シタル額ヲ退職賞與トシテ歸鄉旅費ヲ支給シタル廳
(又ハ其ノ事務繼承廳)ニ於テ之ヲ支給ス

發 經理局長
宛 輸送艦(船)長
第二九一七四〇番電

輸送艦船乗員ノ俸給家族下渡報告ニ關スル件
輸送艦船乗員ニシテ俸給又ハ給料家族下渡中ノモノニ付左記事
項ヲ記載シタル家族渡調書ヲ作成シ當該艦船所管ノ地方復員局
經理部長及第二復員省經理局長ニ送付アリ度

記

- 一 官職氏名(電報符又ハ入籍番號)
- 一 所轄名(現所轄乗組前(特別輸送艦船ト定メラレタル前ニ
乗組ノ場合ヲ含ム以下同ジ)ヨリ引續キ俸給家族下渡中ノ者
ニ在リテハ家族下渡請求當時ノ所轄名ヲ併記ノコト)
- 一 現官職ニ任命(採用)年月日及現級俸ニ昇級年月日
- 一 下渡廳名
- 一 下渡給與ノ種別及金額
- 一 受取人ノ住所、氏名及續柄
- 一 下渡開始年月日(現所轄乗組前ヨリ引續下渡中ノモノニ在
リテハ當該下渡開始年月日ヲ併記ノコト)

第二復員省公報 第四二號 昭和二十一年一月二十日

一 下渡期間中下渡事項ノ變更アリタルモノニ付テハ當該變更
給與金額等ノ區別

發 經理局長
宛 部内一般

第〇二一四〇五番電

聯合軍最高指揮官ノ命ニ依リ抑留又ハ逮捕セ
ラレタル者ノ給與ノ件

聯合軍最高指揮官ノ命ニ依リ抑留又ハ逮捕セラレタル者ノ給與
ニ關シ左ノ通定メラル

- 一 抑留又ハ逮捕セラレタルトキヨリ俸給等ノ諸給與(家族渡
中ノモノヲ含ム)ノ支給ヲ停止ス
- 二 家族渡中ノ者ニシテ前號ニ該當スルモノノ官職氏名ハ第二
復員省人事局長ノ通知ニ基キ第二復員省經理局長ヨリ各地方
復員局經理部長ニ之ヲ通知ス
- 三 本件ハ昭和二十年十一月二十四日以後之ヲ適用ス

二復經理局第一二二號
昭和二十一年二月十九日

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

特別輸送艦船大臣褒賞要領ニ關スル件通牒
今般官房總第二〇號ヲ以テ首題ノ件定メラレ候處賞品ノ購入及
代金決済ニ關シテハ左記ニ依ラレ度

1677

記

- 一 賞品ハ概テ地方淺野物産出張所ヨリ購入ス
- 二 淺野物産出張所ハ地方復員局ヨリ物品領收證ヲ徴シ之ヲ淺野物産東京本店ニ送付ス
- 三 第二復員省及淺野物産東京本店間ニ於テ右物品領收證ニ基キ代金決済ヲ行フモノトス
- 四 淺野物産以外ヨリ賞品ヲ購入セル場合ハ地方復員局ニ於テ一時立替拂ヲ爲シ右立替拂請求書ヲ俟ツテ代金ヲ交付ス

第二復員省公報 第四三號

昭和二十一年二月二十一日(木)

第二復員大臣官房

○通牒

房總第三二號
昭和二十一年二月十九日

第二復員大臣官房庶務課長

各廳長 殿

庶務課長

國立病院ノ開設並ニ傷痍軍人療養所ノ改稱及
使命ノ轉換ニ關スル件通牒

首領ノ件ニ關シ醫療局長官ヨリ各地方長官宛別紙ノ通照會セラ
レ候條字知和成度

牧野 昭

醫療局長 官

各地方長官 殿

國立病院ノ開設並ニ傷痍軍人療養所ノ改稱及
使命ノ轉換ニ關スル件

今般醫療局官制(昭和二十年十二月一日勅令第六百九十一號)
ノ公布ニ伴ヒ陸海軍病院ヲ當局ニ移管シテ國立病院ヲ開設シ傷
痍軍人療養所ハ國立療養所ト改稱シ一般國民ノ醫療保護機關ト

第二復員省公報 第四三號 昭和二十一年二月二十一日

シテ新設足ヲ爲スコト相成國立病院入院規程及國立療養所入
所規程モ別紙ノ通十二月二十八日厚生省告示第五百五號並ニ第
百四十九號ヲ以テ公布セラレ候處之ヲ運營ノ適否ハ國民醫療保
護ノ成否ニ至大ナル關係ヲ有スルモノニ有之候ニ付テハ國立病
院並ニ國立療養所ノ運營ニ付萬般ニ互リ格段ノ御協力相煩度
追テ國立病院、國立療養所ノ名稱及位置ハ昭和二十年十二月
二十一日官報厚生省告示第四百四十二號及第四百四十三號ヲ以テ
掲載有之爲念申添候

記

規程取扱要領

- 一 國立病院規程及國立療養所入所規程第一條(以下單ニ第何
條ト稱ス)中「國ニ於テ醫療ヲ爲スヲ要スル者」トハ左記各
號ノニ該當スル者ヲ謂フ
- (イ) 特別ノ公務又ハ服務ニ關聯シテ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹
リタル者
- (ロ) 戰災者
- (ハ) 終戰ニ因リ内地(本州四國九州及北海道以下同ジ)以外
ノ地域ヨリ引揚ゲタル者

1679

厚生大臣 芦田 均

國立病院入院規程

- (一) 國家總動員法第四條若ハ第五條ノ規程ニ依リ又ハ之ニ準ズル法令ニヨリ徵用セラレ又ハ從事シタル者ニシテ業務ニ關聯シ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者
 - (ホ) 其ノ他國ニ於テ治療ヲ爲スヲ要スル者
 - (ハ) 前各號以外ノ者但シ前各號ニ掲グル者ヲ入院セシメ尙餘裕アル場合ニ限ル
 - 二 第二條中市區町村長ノ發給スル證明書ハ前項(イ)乃至(ホ)ニ掲グルモノニ在リテハ之ニ該當スルコトヲ證スルニ足ルモノナルヲ要シ(ヘ)ニ掲グルモノニ在リテハ其ノ添附ヲ要セズ
 - 三 第四條ノ入院料(入所料)ノ額ニ付テハ昭和十八年二月厚生省告示第六十六號(昭和二十年十一月厚生省告示第二百二十五號改正)ニ健康保險ノ療養ニ要スル費用並ニ國民健康保險組合又ハ國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ法人ニ請求スベキ費用ノ額ノ算定方法ニヨル
 - 四 病院ノ外來診療ハ一定ノ時間ヲ限ルモノトシ公衆保健上必要ナル場合ハ健康相談、保健指導等ヲナスモノトス特別ノ場合ヲ除キ往診ヲ行ハザルモノトス
- 厚生省告示第五十號
- 國立病院入院規程左ノ通定メ昭和二十年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 本規程施行ノ際現ニ陸海軍病院ニ入院中ノ者ハ引續キ本病院ニ於テ療養ヲ受クルコトヲ得
- 昭和二十年十二月二十八日
- 第一條 國立病院(以下病院ト稱ス)ニ入院セシメ得ル者ハ國ニ於テ治療ヲ爲スヲ要スル者トス
 - 第二條 病院ニ入院セントスル者ハ別記様式第一號ニ依ル申請書ヲ病院長ニ提出シ其ノ許可ヲ受ケベシ但シ精神障礙者又ハ未成年者ニアリテハ其ノ監護義務者又ハ親權者(親權ヲ行フ者)ナキトキハ後見人又ハ後見人ノ職務ヲ行フ者)ヨリ之ヲ申請スルモノトス
 - 前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附シ之ヲ提出スベシ
 - 一 市區町村長ノ證明書又ハ地方引揚援護局長、同出張所長、上陸地支局長若ハ上陸地連絡所長ノ證明書
 - 二 醫師ノ診斷書但シ外地ヨリノ引揚ニ引續キ入院セントスル者ニ在リテハ之ニ代ルベキ書類トスルヲ妨グズ
 - 第三條 入院ノ許可ヲ受ケタル者ハ病院長ニ別記様式第二號ニ依ル身元引受書ヲ提出スベシ但シ精神障礙者又ハ未成年者ニ在リテハ之ヲ要セズ
 - 第四條 入院ニ要スル費用ハ有料トス但シ特別ノ事由アリト認メタルトキハ之ヲ減免スルコトヲ得
 - 第五條 病院ノ外來診療ヲ爲スコトヲ得診療ニ要スル費用ニ付テハ前條ノ規定ヲ準用ス
 - 第六條 病院長ハ入院者及外來診療者ニ對シ療養若ハ診療上又

ハ院内ノ秩序保持ノ爲必要ト認ムル指示ヲ爲スコトヲ得
 第七條 病院長ハ療養上其ノ他ノ事由ニ因リ必要アリト認ムル
 トキハ入院者ヲ他ノ病院又ハ國立療養所ニ轉院又ハ轉所セシ
 ムルコトヲ得
 第八條 病院長ハ入院者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ退院ヲ
 命ズルコトヲ得
 一 療養ノ必要ナキニ至リタルトキ
 二 第六條ノ指示ニ違ハズ其ノ他不都合ノ所爲アリタルトキ

様式第一號

入院申請書

一 本 籍
 二 現 住 所
 一 氏名及生年月日
 一 現在ノ傷病名並
 一 之ガ發生原因
 右貴院へ入院致度候間御許可相成度入院ノ上ハ諸規則並ニ其ノ
 他御指示ノ事項ハ堅ク遵守シ萬一違背致候場合ハ何時退院ヲ命
 ゼラレ候モ決シテ異議中間敷候也
 年 月 日
 氏 名
 病院長殿
 備考 費用 有料、減額、免除ヲ希望致度候
 (本人ノ希望ヲ記載ノコト)

厚生省告示第百四十九號
 國立療養所入所規程左ノ通定メ昭和二十年十二月一日ヨリ之ヲ
 施行ス
 本規程施行ノ際現ニ軍事保護院療養所及國立結核療養所ニ入所
 中ノ者ハ引續キ本療養所ニ於テ療養ヲ受クルコトヲ得
 昭和二十年十二月二十八日
 厚生大臣 芦田 均

國立療養所入所規程

第一條 國立療養所(以下療養所ト稱ス)ニ入所セシメ得ル者
 ハ國ニ於テ醫療ヲ爲スヲ要スル者ニシテ左ノ各號ニ掲グル療
 養ヲ必要トスルモノトス
 一 結核性疾患(胸膜炎ヲ含ム)ノ療養
 二 精神障礙ノ療養
 三 中樞神經障礙ノ療養
 四 癩ノ療養
 五 温泉療養
 第二條 療養所ニ入所セントスル者ハ別記様式第一號ニ依ル申
 請書ヲ療養所長ニ提出シ其ノ許可ヲ受クベシ但シ精神障礙者
 又ハ未成年者ニ在リテハ其ノ監護義務者又ハ親權者(親權ヲ
 行フ者ナルトキハ後見人又ハ後見者ノ職務ヲ行フ者)ヨリ之
 ヲ申請スルモノトス
 前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附シ之ヲ提出スベシ
 一 市區町村長ノ證明書又ハ地方引揚援護局長、同出張所長

上陸地支局長若ハ上陸地連絡所長ノ證明書
 二 醫師ノ診断書但シ外地ヨリノ引揚ニ引續キ入所セントスル者ニ在リテハ之ニ代ルベキ書類トスルヲ妨ケズ
 第三條 入所ノ許可ヲ受ケタル者ハ療養所長ニ別記様式第二號ニ依ル身元引受書ヲ提出スベシ但シ精神障礙者又ハ未成年者ニ在リテハ之ヲ要セズ
 第四條 入所ニ要スル費用ハ有料トス但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ之ヲ減免スルコトヲ得
 第五條 療養所ハ外来診療ヲ爲スコトヲ得
 診療ニ要スル費用ニ付テハ前條ノ規定ヲ準用ス
 第六條 療養所長ハ入所者及外来診療者ニ對シ療養若ハ診療上又ハ所内ノ秩序保持ノ爲必要ト認ムル指示ヲナスコトヲ得
 第七條 療養所長ハ療養上其ノ他ノ事由ニ依リ必要アリト認ムルトキハ他ノ療養所又ハ國立病院ニ轉所又ハ轉院セシムルコトヲ得
 診療上又ハ所内ノ秩序保持ノ爲必要ト認ムル指示ヲ爲スコトヲ得
 第七條 療養所長ハ入所者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ退所ヲ命ズルコトヲ得
 一 療養ノ必要ナキニ至リタルトキ
 二 第六條ノ指示ニ違ハズ其ノ他不都合ノ所爲アリタルトキ

入所申請書

一 本 籍 所
 一 現 住 所
 一 氏名及生年月日
 一 現在ノ傷病名並ニ之ガ發生原因
 一 右貴所へ入所致度候間御許可相成度入所ノ上ハ諸規則並ニ其ノ他御指示ノ事項ハ堅ク遵守シ萬一違背致候場合ハ何時退所ヲ命ゼラレ候モ決シテ異議申敷候也

年 月 日

氏 名 印

療養所長殿
 備考 費用 有料、減額、免除ヲ希望致度候
 (本人ノ希望ヲ記載ノコト)

(監護義務者又ハ親權者ヨリ申請ノ場合)

入 所 申 請 書

一 本 籍 所
 一 現 住 所
 一 氏名及生年月日
 一 現在ノ傷病名並ニ之ガ發生原因
 一 右貴所へ入所セシメ度候間御許可相成度入所ノ上ハ諸規則並ニ其ノ他御指示ノ事項ハ堅ク遵守シ萬一違背致候場合ハ何時退所ヲ命ゼラレ候モ異議申敷候之ニ關スル一切ノ事項ヲ引受ケ毫

様式第一號

毛御迷惑相掛中間救候也 年 月 日 右監護義務者又ハ親權者 本籍 現住所 職業 本人ト ノ關係 氏 名 國 年 月 日生		療養所長殿 備考 費用 有料、減額、免除ヲ希望致度候 (希望ヲ記載ノコト)
様式第二號 身元引受書 患者 氏 名 右者今般貴所へ入所御許可相成候ニ付テハ私ニ於テ本人身元ニ 關スル一切ノ事項ヲ引受ケモ貴所へ御迷惑相掛中間救候也 年 月 日 現住所 職業 本人ト ノ關係		二復經理局主第一號ノ八 昭和二十一年二月十八日 第二復員省總務局長 第二復員省經理局長 各地方復員局經理部長 殿 補償ニ關スル件申進 戰時中海軍ノ部隊、工作廳等増備設備等ニ基因シ當該地附近ノ 土地河川等當該市町村一般ニ影響スルモツトシテ之ガ補償ノ要 求アル場合ハ概ネ左記ニ依リ可然取計相成度 記 從來海軍所有ノ土地建物等國有財産ハ既ニ大藏省ニ移管セラレ タルノミナラズ將來海軍用ニ使用セラレザルヲ以テ第二復員省 トシテ補償スルコト困難ニ付其ノ際ハ府縣廳ヲ通ジ内務省ニ問 題ヲ移ス様指導ノコト但シ買收當時ニ於テ特別ノ條件ヲ附シア ルモノ等特殊ノ關係アル場合ハ當局宛關係書類ノ送付ヲ俟テ當 省ニ於テ主務省ニ移牒ス
〇 雜 款		

第二復員省公報 第四三號 昭和二十一年二月二十一日

○電報等發信先ニ關スル件

特別輸送艦船其ノ他第二復員部内各部ヨリ横濱上陸地連絡所宛
電報等發信セラルル向有之候處現在横濱ニハ上陸地連絡所設置
セシレアラザルニ付總テ横須賀地方復員局宛トセラレ度其ノ内
容ニ依リ横須賀地方復員局艦船運航部又ハ浦賀引揚援護局ニ通
報ノコトニ取計ヒ相成度

(横須賀地方復員局)

○郵便物廻送ノ件

本艦宛郵便物ニシテ三月中旬迄ニ到達可能ノモノハ左記ニ廻送
相成度

記

長崎市長崎郵便局氣付

特別輸送艦海三十二號

(特別輸送艦海三十二號)

1684

第二復員省公報 第四四號

○令 達

内令第二七號

長

元吳鎮守府在籍

水雷艇 雉

右帝國水雷艇籍ヨリ除カル

昭和二十一年二月二十日

第二復員大臣

庶務課長

内令第二八號

長

元特務艦 早

右特別輸送艦トシ横須賀地方復員局所管ト定ム

元水雷艇 雉

右特別輸送艦トシ吳地方復員局所管ト定ム

元特務艦 荒

右特別輸送艦トシ舞鶴地方復員局所管ト定ム

昭和二十一年二月二十日

第二復員大臣

内令第二九號

昭和二十年内令第七號中左ノ通改正ス

第二復員省公報 第四四號 昭和二十一年二月二十五日

庶務主任

昭和二十一年二月二十五日(月)
第二復員大臣官房

昭和二十一年二月二十日

第二復員大臣

表中同 下關支部ノ項掃海船名又ハ隻數ノ欄「第五德豊丸、美代丸、第五桐丸、朝日丸、眉山丸」ヲ削ル

(昭和二十年十二月十八日第二復員省公報第一〇號參照)

内令第三〇號

吳地方復員局所管

掃海船 第五德豊丸

同 美代丸

同 第五桐丸

同 朝日丸

同 眉山丸

右掃海船ヲ削ク

昭和二十一年二月二十日

第二復員大臣

内令第三一號

昭和二十年内令第一八號掃海船(試航船)定員表中左ノ通改正ス

六九

1685

昭和二十二年二月二十二日

第二復員大臣

乘組	復員官又ハ復員官補	二	二	二	二
乘組	特務士官、准士官	二	二	二	二
乘組	中復員少尉官	二	二	二	二
乘組	復員官又ハ復員官補	二	二	二	二
乘組	特務士官、准士官	二	二	二	二
乘組	機復員官、曹長	二	二	二	二
乘組	機復員官、曹長	二	二	二	二

「六十二人」ヲ「六十五人」ニ、「五十七人」ヲ「六十人」ニ改

(昭和二十二年一月十六日第二復員省公報参照)

官房第一五號

第二復員省所管一般會計歳出科目中左ノ通追加ス

昭和二十二年二月二十日

第二復員大臣

款	項	目	節	解	疏	會計科目 根拠法
(一般費)	海軍本省	退官退職 給與金		昭和二十二年勅令 第四十號ニ依リ給 スル分		

官房第一號

第一復員省職員ニシテ陸軍關係復員事務指導ノ爲特別輸送艦船ニ臨時乘艦(船)中ノ者ニハ艦船乗組員ニ准ジ糧食ヲ給スルトヲ得

昭和二十二年二月二十二日

第二復員大臣

○雜款

○郵便物發送先

本艦宛郵便物ハ左記ニ送付相成度

記

鹿兒島郵便局氣付

特別輸送艦 雪風

(特別輸送艦 雪風)

○轉官

海軍書記森内賢一ハ昭和二十年六月五日高知縣書記ニ、第二復員官原田美賀ハ一月三十一日醫療局醫官ニ執モ轉官セリ

○追加

昭和二十年十二月十八日第二復員省公報第一〇號令達欄内令第六號(三二頁上段)中「同 波風」ノ次ニ「同 神風」ヲ追加ス

第二復員省公報

第四五號

昭和二十一年二月二十六日(火)

第二復員大臣官房

○通 牒

二復員省局長第七號ノ一四

昭和二十一年二月二十二日

部 長

第二復員省經理局長

關係各廳長殿

鐵道貨ノ改正ニ關スル件通知

件ニ關シ運輸省ニ於テ本年三月一日以降鐵道貨ヲ左記ノ

通ニ改正セラレ候條可然取計相成度

庶務課長

職務記

鐵道ノ大人普通旅客運賃ノ賃率ハ左ニ依ル

百五十粒以下ノ

- 三等 八錢但シ子粒以下ノ區間ノモノハ七錢五厘
- 二等 二十四錢五厘
- 一等 四十九錢

千二百粒以下ノ

- 三等 六錢
- 二等 十八錢五厘
- 一等 三十七錢

千二百粒ヲ超ユル

- 三等 五錢五厘
- 二等 十六錢五厘
- 一等 三十三錢

第二復員省公報 第四五號 昭和二十一年二月二十六日

最低大人普通旅客運賃三等二十錢、二等五十錢、一等一圓
 一 鐵道ノ大人普通旅客運賃ハ旅客之發着區間料程ヲ前號ノ賃率ノ異ナル料程毎ニ區分シ之ヲ前號賃率ニ乘ジ合算シ端數ヲ左ニ依リ整理シタルモノトス

五圓以下ノ額 十錢未滿八十錢ニ切上グ
 五圓ヲ超エ十圓 五十錢未滿五十錢ニ、五十錢ヲ超ユ一圓以下ノ額 未滿八一圓ニ切上グ
 十圓ヲ超ユル額 五十錢未滿八切捨、五十錢以上八一圓ニ切上グ
 三 航路ノ大人ノ普通旅客運賃ハ左ニ依ル

種内	三 等			二 等			一 等		
	一	二	三	一	二	三	一	二	三
稚内—大泊港間	一七〇〇	一八〇〇	一九〇〇	二八〇〇	三〇〇〇	三二〇〇	一〇五〇	一一〇〇	一一五〇
青森—函館間	一七〇〇	一八〇〇	一九〇〇	二八〇〇	三〇〇〇	三二〇〇	一〇五〇	一一〇〇	一一五〇
宇野—高松間	一七〇〇	一八〇〇	一九〇〇	二八〇〇	三〇〇〇	三二〇〇	一〇五〇	一一〇〇	一一五〇
宮島口—宮島間	一七〇〇	一八〇〇	一九〇〇	二八〇〇	三〇〇〇	三二〇〇	一〇五〇	一一〇〇	一一五〇
下關—門司港間	一七〇〇	一八〇〇	一九〇〇	二八〇〇	三〇〇〇	三二〇〇	一〇五〇	一一〇〇	一一五〇
下關—釜山間	一七〇〇	一八〇〇	一九〇〇	二八〇〇	三〇〇〇	三二〇〇	一〇五〇	一一〇〇	一一五〇
博多港—釜山間	一七〇〇	一八〇〇	一九〇〇	二八〇〇	三〇〇〇	三二〇〇	一〇五〇	一一〇〇	一一五〇

前項ノ旅客運賃ニハ食費ヲ含マズ
 四 急行料金ハ左ニ依ル但シ小兒ニ對スル急行料金ハ半額トス

七一

一	二	三
等	等	等
六〇〇〇	三〇〇〇	一〇〇〇

○ 雜 款

○ 郵便物廻送ノ件
本艦宛郵便物ハ左記ヘ廻送相成度

記

京都府舞鶴市東舞鶴郵便局氣付

特別輸送艦 海第一六〇號

(特別輸送艦海第一六〇號)

○ 残務整理

本艦二月十四日ヨリ横須賀地方復員局艦船運航部補充課(舊久里濱海軍通信學校内)ニ於テ残務整理ヲ開始セリ

(酒匂 残務整理班)